

# みえ県議会 だより

NO. 159

平成29年  
(2017年)  
12月1日



発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

〒514-8570 津市広明町13

☎ 059(224)2877 ☎ 059(229)1931 ✉ gikaik@pref.mie.jp

🌐 <http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>

📱 <http://www.gijiroku.jp/mie/>(スマホ版)



▲議会ホームページ



▲スマホ版議会だより

## 平成29年 三重県議会定例会 9月定例会議

### 「みえ地域コミュニティ応援ファンド」などについて議論

「みえ地域コミュニティ応援ファンド」の一部が満期を迎えることに伴う借入金の返済等に係る平成29年度一般会計補正予算を可決したほか、平成28年度企業会計決算認定議案を認定しました。

#### 本号の主な内容

- 1面 本会議での審議結果  
代表質問
- 2～3面 一般質問、用語解説
- 4面 みえ現場de県議会開催のお知らせ  
みえ県議会出前講座のご案内  
平成29年度第1回三重県議会議員勉強会  
インターンシップ実習生の受け入れ ほか

#### 本会議での審議結果

議案の概要、議員別の賛否等の状況などの審議結果や、  
請願・意見書の内容は、県議会ホームページの「本会議」  
からご覧いただけます。

#### 可決した議案

○平成29年度三重県一般会計補正予算(第4号) ほか1件  
条例

○三重県営住宅条例の一部を改正する条例案 ほか4件  
その他議案

○工事請負契約の変更について ほか4件  
人事案件(同意)

○収用委員会委員の選任につき同意を得るについて

#### 認定した企業会計決算

○平成28年度三重県水道事業決算

○平成28年度三重県工業用水道事業決算

○平成28年度三重県電気事業決算

○平成28年度三重県病院事業決算

#### 採択した請願

○介護人材の安定的な確保等に向けた支援を求めること  
について

○義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求め  
ることについて

○子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度  
の拡充を求めることについて

○防災対策の充実を求めることについて

#### 不採択とした請願

○小学校1年生から段階的に25人下限条件をなくし、真の  
30人学級実現を求めることについて

#### 可決した意見書

○介護人材の安定的な確保を求める意見書

○道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める  
意見書

○地方財政の充実及び強化を求める意見書

○義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意  
見書

○子どもたちの豊かな学びを保障するための教職員定数改  
善計画の策定・実施と教育予算の拡充を求める意見書

○子どもの貧困対策の推進と就学及び修学支援に関する制  
度の拡充を求める意見書

○学校における防災対策の充実を求める意見書

#### 可決した決議

○北朝鮮の地下核実験及び弾道ミサイルの発射に抗議する  
決議

### 代表質問

文中の傍線部分については、3ページに  
用語解説を掲載しています。

#### 来年度も 「平和のつどい」の開催を

三谷 哲央 議員  
新政みえ  
桑名市・桑名郡選出



#### 問

平成30年度の三重県経営方針(案)は、29年度にはあった平和への想いを一層深めてもらう機会となる「平和のつどい」の開催についての記載がありません。「平和のつどい」は極めて高い評価を受けた事業であったと理解しています。東アジアでの緊張が高まる中、今一度、平和の尊さを考える重要な時期であり、「平和のつどい」を継続的に開催すべきと考えますが、県の考えを聞かせてください。



今年開かれた「平和のつどい」

#### 答

戦後70年以上が経過し、戦後生まれの県民の方が8割を超えていることから、戦争の悲惨な実態と教訓が風化することが懸念されます。そのため、今後も戦争の悲惨さと平和の尊さを伝える機会づくりに取り組んでいく必要があります。来年度は今年度開催した「平和のつどい」の成果をふまえ、引き続き、被爆地広島との連携した取り組みや戦争体験を聞く場を設けることなど、今後検討を進めていきます。

#### 国際水準GAPの 推進について

前野和美 議員  
自民党  
津市選出



#### 問

東京オリンピック・パラリンピックでは、1千万人を超える観客と30万人を超えるメディア、選手などの関係者が集まると想定されています。これを契機に県産食材の戦略的なプロモーションや国際水準GAP等の認証取得のための支援にどのように取り組んでいくのか聞かせてください。また、国際的視野に立った農業経営者・地域のリーダーを育成するため、県内の農業高校におけるGAPにかかる取り組みをどのように進めていくのか聞かせてください。

#### 答

東京オリ・パラを契機とした県産食材の販路拡大を図るため、本年5月に東京オリパラ三重県農林水産協議会を立ち上げたほか、7月には三重県GAP推進大会を開催しました。今後は、スポンサー企業との連携によるアスリート向けレシポの開発やGAP認証取得をめざす生産者等を対象とした研修会の開催などに取り組めます。また、農業高校の年間指導計画にGAPの指導と実践を位置づけ、GAPに関する学習を推進してまいります。



三重県GAP推進大会

# 一般質問

## 県立一志病院について

青木 謙順 議員  
民主党  
津市選出



**問** 県立病院の厳しい経営状況をふまえ、平成22年に策定した県立病院改革に関する基本方針で一志病院は民間譲渡することが示されましたが、その後、新たな取り組みにより経営が好転し、今では家庭医の育成やへ



県立一志病院

き地医療の拠点となつていきます。知事が慎重に熟慮を重ねた結果、一志病院には公的関与が必要と判断した理由とその際に思い描いた今後の一志病院像をお聞かせください。

**答** 一志病院とそれを取り巻く社会情勢の大きな変化や、一志病院の役割や機能を前提とすることから、公的関与の必要性が高まったと判断しました。また、若い総合診療医が活躍する場であり続けるとともに、県と市が適切な役割分担で連携していくことで、地域住民にとってもよりすばらしい病院になると考えます。

その他の質問事項  
○林業の振興について  
○今後の観光振興について

## 発達障害が「ディスレクシア」の可能性のある児童生徒への適切な指導や配慮について

東 豊 議員  
尾鷲市・北牟婁郡選出



**問** 発達障害者支援法の施行から12年が経過し、その間、自閉症・アスペルガー症候群・学習障がいなどの発達障がいへの関心が高まり、子どもの行動に関する相談件数が多くなっています。そこで学習障がいの可能性のある子どもに対し、就学前から学齢期へと切れ目のない支援ができていくのかお聞きします。また、ディスレクシアの可能性のある児童生徒への支援についてお聞きします。

**答** 特別な支援が必要な子どもにも切れ目のない支援を実施できるよう、必要な支援情報を校間で引き継ぐことができるパーソナルカルテの活用を平成24年度から進めています。また、ディスレクシアについては、文字の読み書きの困難さに気づいた段階で個別の指導計画を作成し、子どもの状況に応じた支援を行っています。



その他の質問事項  
○汚染土壌処理業の許可申請における指導要綱の制定について  
○「日本農業遺産」に認定された尾鷲ヒノキ林業について ほか

## 福祉医療費窓口無料化の促進を

岡野 恵美 議員  
日本共産党  
津市選出



**問** 福祉医療費の窓口無料化に向け、本県議会は平成27年に請願「子ども・一人親家庭・障がい者の医療費窓口無料を求めることについて」を採択しましたが、未だ実現に至っていません。この福祉医療費のうちどれが窓口無料でないのは全国で6県で、予定もないのは三重県とあと1県だけとなっております。そこで県当局が窓口無料化について、どのように検討しているのかお聞きします。



**答** 福祉医療費における現物給付の県内一斉導入について、一人親家庭等医療費助成制度の対象となる子どもと一定の所得制限を適用した障がい者医療費助成制度の対象となる子どものうち、0歳〜4歳に対して平成31年4月から行う検討案を各市町に提案しました。今後、市町や関係団体の意向を十分に確認しながら引き続き慎重に検討していきます。

その他の質問事項  
○非核平和について知事の見解を聞く  
○障がい者スポーツの推進について ほか

## リニア中央新幹線の早期全線開業に向けて

長田 隆尚 議員  
能動  
亀山市選出



**問** 本年9月11日に三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進決起大会が大阪で開催されました。大会ではリニアの開業効果を最大限発揮させるため、三重・奈良・大阪ルートと駅位置の早期確定及び一日も早い全線開業を目指すことなどが決議されました。そこで知事の名古屋・大阪間の早期開業への想いについてお聞かせください。

**答** 今回の大会において、ターミナル駅の新大阪駅を抱える大阪府が新たに連携の輪に加わっていただけしたことや、建設主体のJR東海との連携の道筋が付けたこととは大きな成果だったと考えており、今後、三府県による活動や取り組みをさらに強化していきます。



三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進決起大会

その他の質問事項  
○「県民力でつくる 犯罪や交通事故のない、安全で安心な三重」をめざして  
○高齢者の特殊詐欺被害防止について ほか

## 主要農作物種子法の廃止について

藤田 宜三 議員  
新政みえ  
鈴鹿市選出



**問** 「主要農作物種子法」が廃止となり、都道府県が行ってきた優良種子の生産等の義務がなくなります。廃止に際して、参議院農林水産委員会が「種子の国外流出の防止」等を求める附帯決議を採択するなど危惧する声もあり、もう少し丁寧に検討すべきであったと思えます。そこで、引き続き県が中心となり優良種子の生産・流通に努めるべきと考えますが、県の考えをお聞かせください。



良質な稲の種子

**答** 県では、法廃止後子ども生産に関与していく必要があると考えています。特に本県の気候や土壌に適した優良な種子を確保するため、これまで培ったノウハウを生かしていくことが重要になります。今後米麦協会等の関係者と協力しながら種子の安定供給に取り組んでいきます。

その他の質問事項  
○ダイバーシティ社会を目指した在住外国人対策について  
○三重県におけるDMOについて ほか

## 横断歩道等の塗りかえ状況について

野口 正 議員  
自民党  
松阪市選出



**問** 今年度は、横断歩道等の塗りかえ予算が約3倍に増額し、順次、横断歩道の塗りかえ整備が行われていると聞いていますが、まだ必要としている箇所もあるかと思えます。そこで、現在の塗りかえの進捗状況と、今後どのように塗りかえを進めていくのかお聞きします。また、子どもたちの通学路等の安全対策の現状についてもお聞かせください。

**答** 昨年度の調査で塗りかえが必要とされた約1700箇所の横断歩道は年内に完了する予定で、今後も着実に進めていくことが肝要と考えています。通学路の安全対策については、学校ごとの合同点検による整備箇所の検討や、見通しが悪い等の危険箇所の点検を行っています。



その他の質問事項  
○雇用促進・労働力不足への対応について  
○県内企業の上場推進について ほか

## 妊婦歯科健診について

中瀬古初美 議員  
新政みえ  
松阪市選出



**問** 妊娠中はホルモンの変化等により歯ぐきの炎症や歯周病になる人も少なくありません。その歯周病の細菌などによって子宮筋の収縮を引き起こし、早産・低体重児出産になるリスクが高まるといわれています。そこで、妊婦を対象とした無料歯科健診・歯科保健指導の実施と受診率向上に向けた取り組みの実施が必要と考えますが、いかがですか。




**答** 歯周疾患の進行や重症化を防ぐ妊婦歯科健診は重要であると認識しています。今後もより多くの市町に実施していただくため、市町担当者会議等で先進的な取り組みを共有するなど、妊婦の歯科口腔保健対策の向上に努めます。また、妊婦の医科歯科連携による健康づくりに向け、次期の「みえ歯と口腔の健康づくり基本計画」にしっかりと位置付けて取り組んでいきます。

その他の質問事項  
○県立飯南高等学校の活性化と今後について  
○県産材を活用した木育の推進と森林環境の保全について ほか

**伊勢志摩ナンバーの実現を**

中嶋 年規 議員  
 自民党  
 志摩市選出



**問** ご当地「伊勢志摩ナンバー」を導入することで、サミットのレガシーや知名度の向上などの効果が期待できます。そこで、導入の検討を進めている市町の住民アンケートの実施状況等についてお聞きします。また、合意形成ができた判断した複数の市町が県へ要望を提出した後、導入に向けた体制をどうするのか聞かせてください。




**答** 住民アンケートは地域における合意形成の一環として、各市町が住民の意向を把握するため8月から10月にかけて実施されており、伊勢市では賛成が8割近かったと聞いています。市町の要望を受けて県が意向表明を行った後は、関係市町に加え、商工団体等の協力も得て、推進体制を強化していく必要があるのではないかと考えています。

**その他の質問事項**

- 選ばれ、泊まってもらえる観光地づくり
- 伊勢志摩地域の道路整備

**専門学校・大学(学部)等の教育環境の拡充を**

下野 幸助 議員  
 新政みえ  
 鈴鹿市選出



**問** 若者の県外流出対策は特に重要な課題です。本県では大学進学希望者の約8割が県外に進学し、その多くが県外に就職しています。そこで、社会的な需要が高まっている外国語学や観光学等を専門的に学んだグローバル人材の育成に力を入れるよう、県内の大学等に学部の新增設を働きかけるべきだと考えますがいかがですか。

**答** 県が平成28年に策定した「三重県教育施策大綱」の基本方針の中でも、グローバル教育を進めるとしており、取り組みの充実を図っています。学部の新增設は大学の経営感覚がすぐれて問われるものであり、県としては情報収集に努め、大学等に動きがあればタイミングを逃さず働きかけを行っていきます。




**その他の質問事項**

- 三重県の子ども貧困対策、いじめ・不登校対策について
- 三重県の福祉医療費助成制度(子ども・一人親家庭等障がい者の理念と今後の方向性)について

**農業分野と福祉分野の連携強化を**

山本 勝 議員  
 自民党  
 桑名市・桑名郡選出



**問** 農福連携の全国的な定着と発展を目指すうえで、「農福連携全国都道府県ネットワーク」を主導する三重県のリーダーシップが求められると思いますが、知事の考えをお聞きします。また、農業で働く障がい者の定着支援に加えて、農福連携に取り組む福祉事業所の経営がステップアップできるように、環境整備を進める必要があると考えますが、いかがですか。




**答** 農福連携全国都道府県ネットワークの会長として、発起人である他の知事とも協力しながら、有効施策の研究や国への提言等に先頭に立って取り組めます。また、福祉事業所の経営発展に向け、障がい者が生産したノウフク商品の販路開拓や加工品など新商品の開発等を企業と連携しながら支援していきます。

**その他の質問事項**

- 文化財の保存と活用について
- 北勢地域のインフラ整備について

**「三ない運動」の今後の方向性と交通安全教育について**

彦坂 公之 議員  
 新政みえ  
 鈴鹿市選出



**問** 群馬県で開催された「第5回バイククラブフォーラム」において、群馬県では「三ない運動」を見直しバイクに乗せて教えることに切り替えたことで、初心者運転の事故率低下などに効果があるとの紹介がありました。本県でも「三ない運動」を見直し、高校生への交通安全教育は、乗せて教えるべきと考えますが、今後の方向性について聞かせてください。

**答** 他県の状況は、実際にバイクの乗車指導を行うなどの交通安全教育を推進している県や「三ない運動」を堅持している県があるなどさまざまです。県教育委員会としては、学校や高等学校PTA連合会から話を聞きながら「三ない運動」のあり方について研究していきたいと考えています。




**その他の質問事項**

- 三重県環境保全基金について
- 高速道路・自動車専用道路における暫定2車線の安全対策について

**健康マイレージの全県的な取り組みについて**

北川 裕之 議員  
 新政みえ  
 名張市選出



**問** 「健康マイレージ」は、日々の運動や食事などの生活改善、健康診断の受診やスポーツイベントに参加することなどでポイントがたまり、特典が受けられる制度です。県内では8市町が単独で実施していますが、他県では県と市町が協働して取り組んでいます。本県も率先して市町と連携しながら健康マイレージ事業に取り組むべきと考えますが、いかがですか。



**答** 県が行うマイレージ事業は、すでに実施している市町の取り組みを支援し、かつ、未実施の市町が取り組みを始めやすい制度にする必要があると考えます。県としても取り組みの必要性は認識しており、実施に向けた検討を行っていきたく考えています。

**その他の質問事項**

- 県が取り組むべき空き家対策について
- 関西圏営業戦略の改定について

**用語解説**

**1 科学的特性マップ**

原子力発電に伴って発生する「高レベル放射性廃棄物」は、放射能レベルが十分に減衰するまでに非常に長い時間を要する放射性物質が含まれるため、地下深くの安定した岩盤に埋設する「地層処分」が検討されています。

「地層処分」を行う場所を選ぶ際に、どのような科学的特性を考慮する必要があるのか、それらは日本全国にどのよう分布しているのか、といったことを既存の全国データに基づき、一定の要件・基準に従って客観的に整理し、マップの形で示したものです。

**4 ダイバーシティ**

ダイバーシティとは、英語で「多様性 (Diversity)」のことであり、性別、年齢、障がいの有無などの違いを、個人はもとより、社会や組織として積極的に受け入れ活用するという考え方のことをいいます。

**5 DMO**

DMOとは、Destination Marketing/Management Organizationの略で、観光地のブランドづくり、情報発信・プロモーション、マーケティング、戦略策定などを担う観光地域づくりの推進主体のことを指します。

**2 水銀に関する水俣条約**

水銀の一次採掘から貿易、水銀添加製品や製造工程での水銀利用、大気への排出や水・土壌への放出、水銀廃棄物に至るまで、水銀が人の健康や環境に与えるリスクを低減するための包括的な規制を定める条約のことです。

**6 三ない運動**

バイクによる交通事故から高校生の命を守るために始まった「三ない運動」とは、「バイクに乗らない」、「バイクを買わない」、「三なが」のことです。

**3 GAP**

農業生産工程管理 (GAP: Good Agricultural Practice) とは、農業生産活動を行う上で必要な関係法令等の内容に則して定められる点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動のことです。

**7 健康マイレージ**

県民の健康づくりを促進する仕組みであり、日々の運動や食事などの生活改善や、健康診断の受診、健康講座やスポーツ教室、ボランティア等の社会参加など市町で決定した健康づくりメニューを行った住民が、特典を受けられる制度のことです。

### みえ現場de県議会を開催します！

県議会では、県政の重要課題について関係者等からご意見を伺う「みえ現場de県議会」を開催しています。

今年度は11月24日に「文化振興と地域の文化・歴史を後世に伝えるために」をテーマに、後継者の育成や情報発信、独自の資金調達など文化活動に取り組む上での課題や県に期待することなどについて、ご意見をお伺いしました。

来年1月には、今年度2回目となる「みえ現場de県議会」を鳥羽市で開催する予定です。次回のテーマとなっている「観光・交流の推進」地域の観光資源が光輝く未来へ」について、ご意見を聞かせていただく県民の方を募集します。詳細は三重県議会ホームページでご確認ください。(傍聴することもできます。傍聴の場合、事前申込みは不要です。)



昨年度、鈴鹿市で開催した様子

### みえ県議会議出前講座のご案内

県議会をより身近に感じていただき、将来の住民自治を担う県民としての意識を育んでいただくことを目的に、「みえ県議会議出前講座」を実施しています。

県内の小中学校や高等学校などに議員が出向き、「県議会の役割」等をテーマに授業を行い、皆さんからの質問にお答えします。

みえ県議会議出前講座は、学校からの申し込みを受けて実施しています。昨年度は小学校や高等学校など8校で行い、今年度も既に複数の学校から申し込みいただき、実施しています。

申し込み方法など詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。



今年度実施した出前講座の様子

### 平成29年度第1回三重県議会議員勉強会

10月17日に、全議員が参加する平成29年度第1回三重県議会議員勉強会を開催しました。相模女子大学客員教授で作家・ジャーナリストとしても活躍されている白河桃子氏を講師にお招きし、「働き方改革、そこが間違ってます！」の演題でご講演いただきました。

講演では、長時間労働の是正や女性が活躍しやすい職場環境づくり等について、具体的な事例を基に、聴き手を楽ませつつも、働き方改革の本質を鋭く突いた貴重なお話をいただきました。

県議会では本年度、働き方改革調査特別委員会を設置し、長時間労働の是正や多様な人材が活躍しやすい職場環境などについて重点的に調査を行っており、今回の内容を今後の政策議論に生かしていくつもりです。



### 三重県議会議員インターンシップ実習について

県議会では、議会における政策立案の充実、学生のキャリア形成の支援、地方分権の推進に資する人材の育成などを目的として、平成21年度から、インターンシップ実習生を受け入れています。

今年度は、9月6日から20日までの間に、北海道大学大学院と同志社大学大学院の学生を実習生として受け入れました。

実習では、県議会の取り組みの聴き取りや議員へのインタビューなどを通して、県議会や議員の役割等について学んでいただきました。また、実習の成果として、正副議長等に対して、地域活性化や孤立した若者支援のために議会ができることについて、提案していただきました。

実習生からは、今回の実習を通して、「地域のために役に立ちたい」という気持ちがさらに高まったなどの感想をいただきました。



### 全国都道府県議会議長会総会が熊本県で開催されました

10月26日、熊本県において、全国都道府県議会議長会第158回定例会議が開催されました。

会議では、「地方税財源の充実確保に関する決議」や「平成28年熊本地震からの復旧・復興に関する決議」など計4件の決議を決定するとともに、経済産業委員会や農林水産環境委員会など5つの委員会で取りまとめられた「平成30年度政府予算編成並びに施策に関する提言」について決定しました。また、これら決定した決議や提言については、国関係機関等に対して要望活動を行うこととしています。



### 意見書を国に提出

9月定例会議において可決された「介護人材の安定的な確保を求める意見書」ほか6件の意見書を、10月18日に議長が国に対して提出し、要望の実現を働きかけました。

三重県議会では、意見書を衆議院議長及び参議院議長のほか、内閣総理大臣及び関係大臣に提出し、要望の実現を働きかける活動を行っています。



### 三重県議会議定例会 主な開催実績

会議の様子は、一部を除き県議会ホームページの議会議中継からご覧いただけます。

9月	10月
4日 選挙区調査特別委員会 県議会議員の選挙区及び定数について(委員間討議) 本会議	10日 予算決算常任委員会 議案の審査
15日 本会議 議案11件、認定議案4件上程、決議1件上程、可決 総務地域連携常任委員会 議案の審査、議案の審査、所管事項の調査 本会議	24日 予算決算常任委員会 当初予算編成に向けての基本的な考え方の調査 本会議
21日 議案に関する質疑(2人) 総務地域連携常任委員会 議案の審査、議案の審査、所管事項の調査 本会議	29日 予算決算常任委員会 議案の審査、議案の審査、所管事項の調査 本会議
25日 一般質問(5人) 本会議	30日 予算決算常任委員会 議案の審査、議案の審査、所管事項の調査 本会議
27日 一般質問(4人) 本会議	31日 予算決算常任委員会 議案の審査、議案の審査、所管事項の調査 本会議
29日 一般質問(4人) 本会議	

### 会議の傍聴のご案内

- 本会議  
受付時間 本会議開始30分前から  
定員 180人
- ・傍聴の方法  
議事堂1階の傍聴者用エレベーターで、6階傍聴受付へお越しください。そこで傍聴券・資料などを受け取り、議場へお入りください。
- 委員会・議案聴取会・全員協議会・代表者会議等  
受付時間 会議開始30分前から  
定員 10人(会議開始10分前に定員を超えた場合は、抽選で決定します。)
- ・傍聴の方法  
議事堂正面玄関右側の1階受付で傍聴券を受け取り、各室の傍聴者入り口からお入りください。

※議会議日程や議会に関する情報などは、県議会ホームページのほか、ご家庭のテレビのデータ放送でもご覧いただくことができます。

### 三重県議会議定例会 今後の日程(予定)

三重県議会の会期は通年制となっています。平成29年12月から平成30年2月までの日程は次のとおりです。

12月 4日、6日	本会議(一般質問)
7日、8日	予算決算常任委員会
11日、14日	各常任委員会及び分科会
19日	予算決算常任委員会
20日	代表者会議、議会運営委員会
21日	本会議(採決、閉会)
18日	本会議(開会)
2日	代表者会議
9日	議会運営委員会
14日	全員協議会
19日	本会議(議案上程)
20日	議案聴取会
26日	本会議(代表質問、質疑)
28日	本会議(一般質問)

この日程は、平成29年11月3日現在の予定です。最新の情報は、ホームページでご確認ください。